

平成28年 2月3日(水) 発行



高 大 附 高 だ よ り

編集 高崎商科大学附属高等学校父母の会
〒370-0803 高崎市大橋町237-1 TEL (027) 322-2827



ご挨拶



父母の会会長
中村 純也

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、ご家族と共に健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。平成二十七年の諸行事においては会員の皆様のお力添えを頂き無事に終了する事ができました。心より感謝申し上げます。

生徒におかれましては、部活動の大会やコンテスト等で素晴らしい結果を残し、仲間達との絆も深めることができ、多くの経験ができたと思います。新聞でも度々掲載されたことを嬉しく感じています。

十一月に行われた体育祭は陸上競技場を貸し切りで行われるとても豪華な大会となりました。初めての事もあり競技の進行や設営に手間取っている様子も見受けられましたが、生徒達のはつらつとし

た表情を大勢の保護者の皆さんが観覧する事ができ、これからも同様に続けて行つて欲しい行事だと思われました。

三年生にとつては残り少ない高校生活となりましたが、仲間との友情を深めると共に受験や就職に向け充実した日々を過ごして頂きたいと思えます。商大附高での三年間で身につけた事や経験した事を、失敗を恐れず、夢とチャレンジ精神を忘れずこれからの人生で活かしてください。また、一年生、二年生においても勉強や部活動に全力で取り組み、充実した高校生生活を過ごし、楽しい思い出をつくりたいと思えます。

様々な物が多様化する時代、知識と体力、そして人として生きる力を身につけて頂きたいと思えます。

会長を務めさせて頂いてから、会員の皆様のご指導ご協力のおかげで何とか会長をやつてこれた事に對しまして心より厚く御礼申し上げます。私たち父母の会の活動も残りわずかとなりましたが、最後まで頑張つて行きますので、会員の皆様、校長先生をはじめ教職員の皆様のご協力よろしくお願ひし

ます。

結びに商大附高の益々の発展と会員の皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

ご挨拶



理事長・校長
森本 純生

温かな穏やかなお正月で平成二十八年を迎えました。今年申年、申年は「悪いことが去る」

「病が去る」など、いいことや幸せがやつて来る年とされていますが、今年（ひのえさる）で「形がはつきりする」「地が固まる」年なのだそうです。私ごとではありますが六回目の年男になり、今年が本校の充実にの年になるようにと願いました。長い間続きました校舎建て替え工事、耐震補強工事、冷暖房更新工事、照明・給排水増設工事、自転車置き場新設工事等の全てが完成しやつと区切りがつかしました。

これで生徒の安全面が確保され、教室の温度も明るさ等も適正になり、勉強する環境が十分に整ったと思えます。今後はこれらの施設設備をフルに活用した生徒諸君の努力に期待したいと思います。

今年は新年早々から通常国会が招集され、補正予算案の検討が始まりましたが、同時にもう夏の参議院選挙の話題が大きく取り上げられております。昨年六月に十七年ぶりに公職選挙法が改正され、選挙権が「二十歳以上」から「十八歳以上」へと引き下げになりました。これに伴い現在の三年生は卒業後の七月に予定の参議院選挙には全員が投票することになりますし、その時点で十八歳を迎えている現二年生（新三年生）にも投票権が生まれます。昨年末に生徒全員に文部科学省からの補助教材が配布されましたが、保護者の皆様にも必ずお目通しをお願いいたします。日本国憲法の制定と同時に定められた公職選挙法の初めての改正であります。高等学校には選挙権を有する生徒が在籍することになり、今まで政治教育・政治活動は禁止であった状況と大きく変わることになります。国の政治

本部役員挨拶

「今年をふり返って」

に関心を持ち、将来の日本を考へることを若い国民に期待をしての改正であります。投票日が近くなっている今、選挙権行使の大切さや選挙のルールを知ってもらふ必要があります。学校内に於いて適切に指導を行う準備を進めて参りますが、放課後や休日等に学校外で行われる選挙運動や政治活動は家庭や地域との連携が必要で、どうぞ保護者の皆様のご理解を宜しくお願い申し上げます。

副会長 山木 恵子

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、ご家族と共に新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

今年度も役員として様々な行事に参加させて頂きました。今年の一歩の思い出は、やはり秋に開催された「体育祭」です。浜川運動場にて、各クラスの入場パフォー

マンスは、採点をとのお願いでしたが、どのクラスも魅力的で、点数をつけるのに苦労しました。先生方や一部保護者の皆様も競技に参加してとても楽しい一日となりました。

今年度も残りわずかですが、会員の皆様のご協力を頂きながら、本部役員として行事や部活に参加させて頂けた事は、とても貴重な経験となりました。

校長先生、諸先生方には大変お世話になりました。最後になりましたが、皆様の「ご多幸とご活躍、そして商大附高の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます、ご挨拶とさせて頂きます。

副会長 松澤 龍治

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

平成二十七年度も残りわずかとなりましたが、役員として様々な行事に参加させて頂き、とても貴重な経験をさせて頂きました。中でも体育祭では、クラスごとによるアイディア溢れる入場行進、子

ども達の白熱した闘い、保護者も参加できる綱引きもあり、子ども達の活き活きと楽しんでる姿を間近で見ることができて嬉しく思うと同時に共に楽しませて頂いた事を感謝しております。

生徒の皆さんは、これからも明るく元気よく礼儀正しく、充実した学校生活が送れますよう、微力ではありますが協力させて頂きたいと思っております。

結びに、商大附高の益々のご発展と皆様のご健康とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

副会長 桂 川 淳

新年あけましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、つつがなく新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

つい先日入学式を迎えたと思っておりましたが、早いもので今年度もあと僅かとなりました。この間の様々な行事も、会員の皆様のお力添えにより滞りなく終了できましたこと、深く感謝いたします。今年度も運動部、文化部を問わず各方面ですばらしい活躍が見られました。その生徒たちの生き生

きとした表情を嬉しく、また頼もしく感じながら見ていました。今後の益々の活躍に期待しています。

最後になりましたが、生徒たちの輝く未来のために、より一層のお力添えをお願いいたしますとともに、皆様のご多幸、商大附高の益々の発展を心よりお祈り申し上げます。

書記 佐藤 英司

新年明けましておめでとうございます。会員の皆さまにおかれましては、穏やかに新年を迎えられたことと存じます。

平成二十七年度も残りわずかとなり、これまで無事に行事が行われたことに会員の皆さまのご協力に深く感謝申し上げます。三年間携わった役員業務も卒業式、総会を残すところとなり少々寂しさも感じております。残り少ない日々、子ども達が最高の高校生活を送れるよう協力したいと思います。

校長先生を始め、諸先生方には三年間大変お世話になりました。子どもとの良い思い出が出来たことに感謝申し上げます。又、三年間お世話になりました役員

皆さま、本当にありがとうございます。ありがとうございました。

結びに、商大附高の益々のご発展と皆さまのご健康、ご多幸をご祈念申し上げご挨拶とさせていただきます。

書記 茂木幸恵

新年明けましておめでとうございます。会員の皆様におかれましては、穏やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

役員をお受けして、不安に思いつながら、早いもので二年が過ぎようとしています。今年度も役員として様々な行事に参加させて頂き、役員にならなければわからなかった学校の事など貴重な経験させて頂きました。

秋には今年初めての体育祭がありました。子ども達が、一生懸命自分の競技に取り組んでいる姿を見て、高校生になった今でも可愛らしく感じられました。先生方のご指導のもと協調性と責任感を持ち、和やかな雰囲気に含まれていました。

最後になりましたが、皆様のご多幸とご活躍、商大附高の益々の

発展を心よりお祈り申し上げます。

会計 猿谷正広

謹んで新年をお祝い申し上げます。早いもので、役員を仰せつかって、三年が過ぎようとしています。我が子共々、希望と不安を持ち、学校行事等参加させていただきました。校長先生を始めとする諸先生方の情熱、父母の会を主体とする会員の連帯感が、子どもたちが成長していく上で必要な「親愛」「礼節」「整美」が育まれ、大切なものが大切に来る環境が出来ていることに対して、ただただ感謝の気持ちでいっぱいでありました。子どもたちも、そのいっぴいの愛情を頂き、自主、自立を身につけ、それぞれの夢へ向かって、羽ばたこうとしております。私自身、この活動をさせていただいたことに感謝し、商大附高の益々の発展を祈念申し上げます。

会計 笹原美穂

謹んで新春のお慶びを申し上げます。今年度も会員の皆様にご協力を頂き総会、学年学級懇談会の

諸行事が無事に終わりました事、感謝申し上げます。

今年度は初めての男女合同での体育祭が開催されました。入場行進では各クラスがアイディアを出しニューモアあふれる楽しい物ばかりで、約一時間があつという間に過ぎてしまいました。競技はどれ

三年生保護者より

旅立つ我が子へのメッセージ



坂井洋子

見慣れぬスーツ姿で入学してより早三年。光陰矢の如しでした。果たしてこの勉強量に付いて行けるのだろうかと心配した二年時。更にクラスに男子が一人という極めて珍しい状況に、当初先生方にも心配された二・三年。君は見事にクラスに溶け込み、愚痴も溢さずむしろ楽しそうに学校物語を聞かせてくれました。その姿に君の大きな成長を見て喜んだものです。時に叱咤され励まし合い、視点外の意見をくれたクラスメイト達。少バカな話で笑い合った親友達。少し甘えて頼った先生方。その全て

「二倍の人生」 磯部裕子

子どもを育てるといふこと、それは二倍の人生を生きるということ。

子どもが生まれた時、私も赤ん坊の時代があったことを想像した。きつと私もこんな風に愛されたのだと。

も迫力があり応援にも力が入って見応えある物ばかりでした。子ども達も団結力が一層深まり高校生活の素敵な思い出の一ページが増えたと思います。結びに、商大附高の益々のご発展と会員の皆様のご健康、ご多幸を心よりお祈り申し上げます。

子どもが初めて小さな足で立った時、私の足も大地に第一歩を踏み出した瞬間があったのだと。

子どもが初めて発した片言が、いつしか語彙も増え私と衝突した時、私もこうやって親を踏み台に成長してきたのだと。

子どもがゴールキーパーをしてボールに飛びついた時、私の血管は膨張し弾丸のような衝撃を感じた。

子どもが満面な笑みを浮かべた時、私も思い出に体が浮き上がりそうだった。

あなたの人生と私の人生、合わせて二倍の人生を生きてきた。ありがとう。

金井悦代

時が経つのは早いもので、もう卒業なのでですね。

振り返ってみると、公立高校の合格発表で悔しい思いをし、半ばふてくされ感を漂わせて入学したのが三年前。でも、早く気持ちを切り替え、積極的に行動を起こす様になり、一安心しました。クラスの間にも恵まれ、友人もたくさんできましたね。皆勤賞を狙う！

の宣言通り、皆勤の文字が並んだ通知表。言われなくても勉強している。高校生になって成長したたね。夢に向かって頑張っている姿は、とても誇らしく思います。これからも感謝の心を忘れず、前向きに歩んで行って下さい。

最後に、三年間ご指導下さった茂野先生、諸先生方大変お世話になり、ありがとうございます。とても良い環境で三年間過ごせたこと、親子共々とても感謝しています。

榎本恭子

期待は重かったでしょうか。こうあってほしいとの願いは飽きることも尽きることもありません。

小中高と一日も休まず通った十二年、感心します。楽しい日々ばかりではなかったでしょう。特に高校では自分を冷静に見つめ、一歩大人になって将来を考える厳しく貴重な三年間でもありました。解決を求めた進路選択が正解なのか正直まだわかりません。でもこれから先どう進むか育った十八年と、この高校での時間が役に立つてくれると信じています。

やっと進む道を決めたのに、私には次の欲が湧いています。高校は卒業しても親としてあなたへの期待はこれからも続きます。応援してくれるとも思いますが、卒業おめでとう！

高橋智子

新しい門出にあたり「おめでとう」の言葉を贈ります。

早いうちから目指す方向が決まっていたあなたは、日々努力していましたね。他の人が経験できない辛いことも、自分に与えられた試験としてポジティブに捉え、常に前を向いていたあなた…。どこにそんな強さを秘めていたのか。末っ子で、甘えん坊だったあなたも、随分と成長したのでですね。

命の大切さを知っているあなただからこそ、たくさんの人を助けることができるはずです。私は、夢に向かって頑張るあなたを誇りに思い、これからも応援し続けたい。四月からの大学生活を充実したものにしてください。

最後になりましたが、三年間ご指導くださった諸先生方、心より感謝申し上げます。ありがとうございます。

ございました。

平塚貴恵子

卒業おめでとう。

入学式の日、中学から続けた吹奏楽部に入部を決め、勉強と部活との両立は大変だったと思います。卒業まで頑張って続けられましたね。入学してすぐ、「学校で友達と迷子になった。」と話してくれた時は、楽しく高校生活を送れているのだと確信しました。

高校での三年間は、一生懸命やつても成果の出ないこともあっただろうし、悔しい思いや悲しいことも経験したことと思います。でもまだ始まりです。今、夢に向かって第一歩を踏み出したばかりです。これから先沢山の困難があるかもしれない。どうか自分で考え正しいと思つた道に進んでください。

また、あなたは、我慢して相手に気持ちを伝えられない時があります。話をしないと自分の気持ちは伝わりません。話をしましょう。そして、いつもお父さんとお母さんはあなたの味方であることを忘れないでください。最後に、毎日お弁当を残さず食べてくれてあり

がとう。吹奏楽の演奏をたくさん聴かせてくれてありがとう。

井草みど里

小学生の頃から商大附高に入学して空手をするのが夢でしたね。母は、あなたの空手は本格的な空手ではないからと反対しましたが、例え裏方でもいいと言いい、自分の意志を貫き入学。

入学後は空手三昧の日々でしたね。厳しい練習も仲間と一緒だと楽しいと言いつつも、悔し涙を流すこともあったと思います。そんな姿は一切見せず、弱音を吐く事もなく前向きに頑張り通したあなたは私達の誇りです。

今、次なる目標に向かって努力しているあなた。夢が叶えられるよう惜しみないエールを送ります。娘を支え成長させて下さった皆様、心より感謝申し上げます。

そして最後に、わかば。あなたの選択は正しかった！自信持って進んで行って下さい。

米谷悦子

早いもので三年目の春を迎える

頃となりました。高校でも野球を

続けていこうと話合っていた頃縁あって入学、入部を決意しました。朝早く家を出て、夜遅く帰宅する生活は親子共に新鮮でした。

高校球児が目標とする甲子園、日々努力して来た三年間、結果を残せないまま夏が終わり、様々な想いが頭をよぎりました。ある日、家族で将来の話になり「あれも子供ができたらやつぱり野球をやらせる。野球は特別だから」と話していました。結果を残せなかった事以上に、彼の心の中には大きな宝物が残っていた事を知り、とても嬉しく感じています。

最後に何より野球を指導下さった先先生方、父母の皆さん、息子に関わって頂いた全ての方々に感謝申し上げます。

三年間ありがとうございました。

山口和美

早いもので高校生活も残りわずかとなりました。

ずっと憧れていた商大附高の空手道部に入部でき目標に向かって練習の毎日でした。

強くなりたい!!勝りたい!!と思

う気持ちで夢中で頑張った姿、試合でコートに立ち観覧席を見上げ

うなずく姿が目には焼きついていません。大きな声を出し全力で臨む姿や、前に出て最後の最後まで諦めない姿にはとても成長を感じました。途中挫折しそうになった事もありましたが周りの皆さんの支えがあったからこそ辛い事も乗り越えられたのだと思います。

周りの皆さんへの感謝の気持ちを忘れず持ち前の明るさと負けん気の強さで大学に進んでも頑張ってください。

最後に、ご指導くださった諸先生方、三年間大変お世話になりました。

戸塚育美

希望に満ちた面持ちで商大附高の門をくぐってから三年が経ちました。

本日にたくさんさんの出来事があった三年間でした。親子共々、たくさんさんの経験を積みたくさん成長できたのではないかと思います。娘のおかげで楽しい三年間を過ごすことができました。これも諸先生方のご指導の賜物と感謝しております。

ます。

怜乃♡笑顔や涙の数だけ強くなるから。これからの明るい未来。安心して羽ばたいておいで。みんなあなたの味方だよ。卒業おめでとう!

佐藤厚子

初めての電車通学に胸をふくらませ、期待と不安の高校生活が始まり、早三年が経とうとしています。

勉強と部活動との両立で帰りも遅く、ほとんど、部活動が主でしたが、充実した日々が過ごせました。クラスや部活動でも良い仲間にも恵まれ毎日楽しい高校生活を送れたのだと思っています。

部活動では父母共に楽しませてもらって、感動をありがとう!!心も身体も成長していく姿を見て、とても嬉しく思います。

高校生活で経験した事を忘れず、どんな困難にも負けず、諦めない心を持つことが大切です。これからも、自分の夢に向かって前向きに頑張ってください。

最後に、三年間支えていただきご指導下さった諸先生方、大変お

世話になりました。ありがとうございます
ございました。

大山かおる

「時間は無限ではなく有限である」と何かの本に書いてありました。だから、この三年間で得た事を今後の自分自身の肥やしにしてほしいと、高校を入学する時にも話したのが昨日のようです。高校を入学した時、この言葉が理解出来ていなかった貴女は、この三年間で「有限」という事を理解して私もビックリするくらい自分自身をなるべく理解して自分の長所を伸ばす努力をし、現状の結果を出しました。三年前、私は親である前に人間として良悪な所も弱い所全てを見せて過ごそうと思いましたが、だから泣いたり笑ったり喧嘩したりとありましたが今思えば本当に全てが楽しかった。これからも親だからではなく人間として親友として絶対に裏切らない一人ではないから、もし、迷ったり困ったり泣きたい時など思い出して下さい。朝が来ない夜はありませんから、一緒に考えましょう。私も貴女が私の娘と一緒に生きられ、毎日が

本当に楽しいです。ありがとうございます。
最後に校長先生をはじめ諸先生
方、事務の方々、この学校を親子

進路指導部より

【進学状況】

今年度、現時点での入試結果は、
国公立大学の推薦入試での合格者が
18名、内訳は、横浜国立大1名、
山形大1名、群馬大8名、県立女
子大3名、県民健康科学大2名、
高崎経済大3名となっています。
昨年度が9名でしたので倍の人数
ではありますが、生徒数が今年度
の方が多いので決して樂觀はでき
ません。一方私立大学ですが、現
時点の合格者数は130名となつて
います。いずれにしてもこれから一
般入試が始まりますので、三年生
には、残った時間を無駄なく使い、
悔いの残らないようにしてもらい
たいと思います。

三代で選り卒業出来て心から感謝
です。

わけていますが、これは大量にい
た団塊世代が定年退職の時期を迎
えており、その抜けた分を補充す
るために起こっているだけで決し
て景気が回復しているのではない
という人もいます。振り返ってみ
れば、日本はオイルショックまで
は高度経済成長期でした。経済成
長率が平均9・1%と言われてい
ました。その後オイルショックで
一回マイナス成長を経た後に、平
均成長率4・2%という、いわゆ
る安定成長の時期となりました。
それがバブルの崩壊後、90年代以
降の日本は平均成長率0・9%と
いう、経済が成長しない、富の増
えない時期に突入し、もう長い時
間が経過しています。この間、90
年のバブルピークを過ぎると就職
氷河期とかポストジェネレーション
と呼ばれる時期も経験してきました。
そして今や大学全入時代と呼
ばれるようになって久しいわけ

です。このような時代に大学生と
なっていく者のおかれた立場は、
高度経済成長期にとりあえず大学
にでも行っておけば、教育の本当
の意義や働くことの本質の意味な
ど分からなくてもいいつばぐれは
なかった当時とは違います。大学
を卒業しても、その後「ブラス
ク」などという文字のつく企業が
待っているかもしれないのです。
世の中では、人間力であるとか生
きる力であるとかキャリア教育で
あるとかが叫ばれています。本
当の意味での「教育」を皆で考え
ていかなければならない時代にな
つたように感じます。

▼主な合格大学

- 山形大学(1) 群馬大学(8)
- 横浜国立大学(1) 群馬県立県
民健康科学大学(2) 群馬県立
女子大学(3) 高崎経済大学
- (3) 東北芸術工科大学(1)
- 共愛学園前橋国際大学(7) 桐
生大学(4) 群馬医療福祉大学
- (6) 群馬パース大学(1) 上
武大学(2) 高崎健康福祉大学
- (4) 高崎商科大学(21) 跡見
学園女子大学(1) 埼玉学園大
学(2) 埼玉工業大学(7) 十

- ▼**主な合格短期大学**
- 國學院大學栃木短期大学(1)
 - 育英短期大学(11) 群馬医療福祉大学短期大学部(1) 高崎商科大学短期大学部(30) 新島学園短期大学(4) 明和学園短期大学(4) 埼玉女子短期大学(4) 青山学院女子短期大学(1)
 - 城西大学(1) 東京国際大学(3) 東都医療大学(1) 日本医療科学大学(2) 日本薬科大学(1)
 - 人間総合科学大学(2) 文教大学(3) 明海大学(1) 城西国際大学(2) 聖徳大学(3) 千葉工業大学(1) 昭和音楽大学(1) 亜細亜大学(2) 桜美林大学(1) 大妻女子大学(1) 学習院女子大学(2) 実践女子大学(3) 専修大学(2) 大正大学(1) 大東文化大学(2)
 - 拓殖大学(2) 帝京大学(2) 東海大学(1) 東京福祉大学(1) 東洋大学(1) 二松學舎大学(1) 日本大学(2) 日本体育大学(1) 新潟医療福祉大学(1) 金沢工業大学(1) 聖隷クリストファー大学(1) 同志社大学(1)

平成 27 年度 父母の会学年懇談会 進学関係資料

- (1) 平成 26 年度 大学 247 名 (国公立 15 名) 合格
- 平成 25 年度 大学 258 名 (国公立 25 名) 合格
- 平成 24 年度 大学 234 名 (国公立 24 名) 合格
- 平成 23 年度 大学 265 名 (国公立 22 名) 合格
- 平成 22 年度 大学 267 名 (国公立 12 名) 合格

(2) 在校生の進学希望調査 (平成 27 年 4 月調査)

	1 学 年 在籍 438			2 学 年 在籍 464			3 学 年 在籍 495			
	大 学	短 大	専 門	大 学	短 大	専 門	大 学	短 大	専 門	
文 系	文・人文	4	0	0	16	0	0	14	1	0
	社会・国際	9	0	2	17	2	1	25	0	1
	法・政治	3	0	1	9	0	1	2	0	1
	教育	11	0	0	9	0	0	13	0	0
	経済・経営・商	15	0	1	19	5	2	25	2	2
	芸術・スポーツ	15	0	16	13	3	10	15	1	8
	家政・生活	1	0	2	0	0	2	8	0	2
	総合・情報・人間	6	4	4	6	0	0	9	0	2
	幼児教育・保育	6	11	9	4	17	5	10	13	5
	理容・美容	1	0	22	1	1	19	0	0	17
	医療・福祉	6	1	8	6	2	5	10	6	4
	その他	4	5	8	6	1	16	4	5	14
	未定	50	10	18	32	4	8	13	6	11
理 系	理学・工学	12	2	3	25	0	5	27	0	2
	農学	5	0	1	1	0	0	2	0	0
	医・歯・薬	4	1	2	11	0	1	10	1	2
	教育	3	0	0	5	0	0	4	0	0
	医療(歯科・臨床)	4	0	1	5	1	5	8	3	6
	看護・保健	8	1	8	10	1	11	35	1	11
	動物	2	0	6	4	1	6	1	0	11
	その他	0	0	0	6	0	2	6	0	6
未定	15	4	1	18	4	1	7	2	4	
未 定	41	8	10	27	5	5	13	7	13	
合 計	225	47	123	250	47	105	261	49	122	

1 年 進学 395 就職 43 2 年 進学 402 就職 62 3 年 進学 432 就職 63

- (3) 入学試験 各大学短大専門学校の可否資料については進路資料を参照のこと。

A. 推薦入試 出願条件を満たした生徒が高校からの推薦を得て出願する。

指定校推薦 (大学約 100 校 短大約 40 校)
大学等が指定した高校に基準や指定枠等を提示して募集する推薦。出願できれば合格の可能性は極めて高い。

公募制推薦 条件を満たしていれば、どの高校の生徒も出願できる入試
一部人数制限のある大学あり。群馬大学教育 (体育) 等。

※出席状況には十分留意し全科目について評定を高める努力が必要

B. 一般入試 各大学・学部により入試科目を設定して、可否を判定する。入試得点が重視されるので、入試科目で高得点を取れる実力が必要。

〈大学入試センター試験〉

国公立大学受験者は必修であるが、9割以上の私大がセンター試験利用入試を実施。4年制大学受験者はほぼ全員が受験してほしい。

国公立の試験科目は、6教科7科目に増加科目構成例

文系 (英 1、国 1、社 2、数 2、理 1) 等
理系 (英 1、国 1、社 1、数 2、理 2) 等
“入試科目を意識した学習を”

C. A.O入試 大学 (短大) で何を学びたいかを大学側と相談し、受験生と大学側の条件が一致した場合、出願し選考される。エントリーの早い学校も多い。

- (1) 女子栄養大学短期大学部
- (1) 東京女子体育短期大学
- (1) 上智短期大学 (1) 昭和音楽大学短期大学部 (1)

▼主な合格専門学校

- 群馬県高等歯科衛生士学院 (1)
- 前橋医療福祉専門学校 (2)
- 日本栄養医療専門学校 (2)
- 英メデイカル専門学校 (3)
- 高崎歯科衛生専門学校 (2)
- 中央医療歯科専門学校 (1) 他
- (進学指導主事 菊池弘幸)

【就職状況】

群馬県労働局では平成二十七年九月末現在における来春の高校生新卒者の求人、求職内定状況を発表しました。求人倍率は、前年同期を0・28ポイント上回る1・92倍となりリーマンショックの影響を最も受けた平成二十二年三月以降では最も高い水準となりました。求人数は、前年同期(5265人)に比べ15・8%増加の6096人となり、平成二十一年三月以降で最も高い数字となりました。産業別に見てもほとんどの産業で増加しています。一方、求

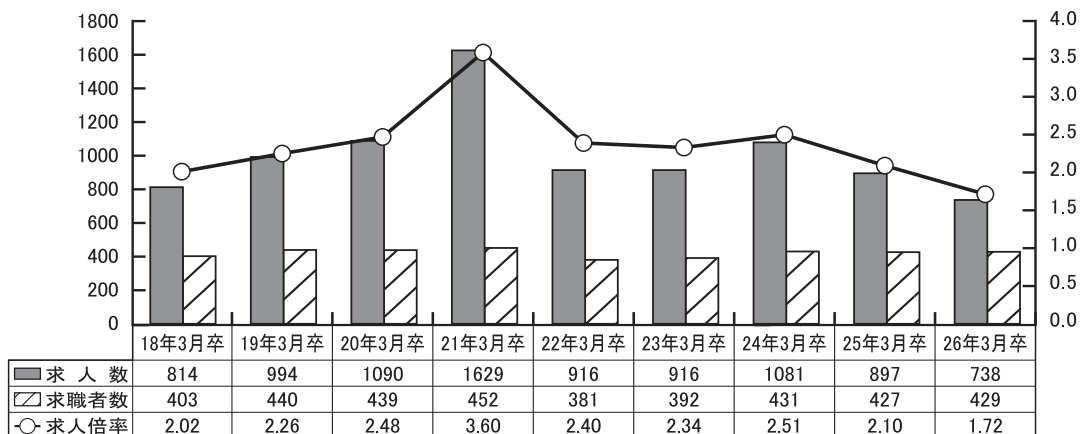
職者数は前年同期3212人に比べ1・0%減少の3180人となりました。就職内定者数は前年同期1938人に比べ2・2%増加の1981人となりリーマンショック以降最も高い水準となっています。

現場でも実際に手ごたえのある状況となっています。求人は九月に入っても途絶えることがなく、九月の就職試験に落ちたら生徒たちも、十月以降に応募した企業からはほとんど内定をもらっていません。中でも自動車関連の企業は好調で採用が多かったようです。自分に合った職種をさがし、さらに具体的な会社を選び出すことは、決して簡単なことではありません。しかも、決められた時間内に決断しなければならぬわけですから。そのためにも、指導部では、早い時期から就職希望者には具体的な内容の指導をしてゆきたいと思っています。群馬県では、高校生の就職の選考は一人一社制で、九月中旬から始まり、今年度はこの時期に応募した者が三分の二、十月の中旬以降が残りの一人三社までの推薦・応募が可能となりますが、

現実的には難しくなる時期です。もちろん、どんな状況でも生徒本人の希望がしっかりとしていないといけないと同時に、受験準備を充分にする必要があります。企業に採用されるためには、改めて、言葉づかいや身だしなみを注意してほしいと思います。企業が求める「コミュニケーション能力」は、決して難しいものではありません。本校の校訓「親愛・礼節・整美」の心を發揮してくれればいのです。

(職業指導主事
水上 造)

求人数・求職者数・求人倍率の推移 (高崎市内分)



生活指導部より

「自身の安全を守る為に！」

三年生で進路が決定し、一定の許可条件をクリアすると、二学期の期末試験最終日より自動車教習所に通う事ができます。今年は今月末の時点で二四四名の生徒が教習を受けています。中には卒業式よりも前に運転免許証を手にする者もいます。しかし、本校は基本的には卒業式以前は保護者に免許証は管理していただき、在学中に自動車の運転をする事を禁止しています。

ここ数年、登下校の途中で自転車運転中の生徒の事故が多発しています。中には大きな事故もあり、県内の高校生の交通事故は平成二十一年より五年連続、全国ワースト1です。自転車通学者の数そのものも多いので当然事故数も比例してくるとは思われますが、それにしては思われませんが、これにしては高校生が自転車から自動車に乗り換え、一般道路に出て行く事になるわけです。

自動車で大きな人身事故を起こ

平成27年度 父母の会行事予定

月	日	曜日	事業内容(会場等)
4	8	水	入学式(群馬音楽センター)
5	15	金	本部役員会
	23	土	平成26年度総会・本部役員引継ぎ会(暢神荘)
	28	木	県私立中学高等学校保護者会連合会総会(ラシーネ)
	29	金	高崎地区PTA会長及び管理職歓迎会(エテルナ高崎)
6	5・6	金・土	県高P連総会(一泊:伊香保 ホテル「天坊」)
	21	日	3年学年学級懇談会・反省会
	28	日	1年学年学級懇談会・反省会
7	5	日	2年学年学級懇談会・反省会
8	21	金	後援会合同夏季懇談会(ヴィラデマリアーヂュ)
9	18	金	県私中高保護者会連合会理事会・学校見学会(白根開善)
10	16	金	西毛地区高P連指導研究集会(ニューサンピア高崎)
11	20	金	県高P連指導者研究集会(前橋テルサ)
	23	月	後援会・同窓会合同研修旅行(屋形舟出行<隅田川遊覧)
12	1	火	私学振興全国大会(日比谷公会堂)
1	15	金	後援会・同窓会役員合同新年会(ヴィラデマリアーヂュ)
	28	木	平成27年度群馬県私学振興大会(ラシーネ)
2	5	金	3年学年学級役員反省会(ヴィラデマリアーヂュ)
	19	金	県私中高保護者会連合会理事会・学校見学会(樹徳高校)
3	1	火	第67回卒業式(群馬音楽センター)
	18	金	1・2年学年役員合同反省会(ヴィラデマリアーヂュ)

してしまつと、その影響は計り知れませんが、場合によっては刑事責任を問われることもあるのです。自動車の運転をしてみ、改めて

自転車運転していた自分を反省する事もあるかと思ひます。どうか教習所で学んだ事を忘れず、安全運転を心がけてもらいたいと思ひます。スマホに関するトラブルが頻発している昨今、スマホ教

習所があれば、そこで安全教育を受けてからデビューしてもらいたいと思います。どちらもルールに則つて、自分の身は自分で守る、危険な状況を避ける、その為にどうしたら良いか考える事が基本です。(生徒指導主事 田沼稔夫)

平成26年度 決算について

学校法人 高崎商科大学

平成26年度決算につきましては、平成27年5月29日(金)開催の理事会において承認され、同日開催の評議員会に報告されました。

現在、本法人の経営状態は、日本私立学校振興・共済事業団が示す「定量的な経営判断指標に基づく経営状態の区分」に照らし合わせた場合、昨年度に引き続き過去13年間「Aランクの状態」(正常状態)に位置しており、財政基盤はきわめて安定していると言えます。今後ともこの健全な経営状態を維持するよう、より魅力ある学園とするため教育研究内容の充実や施設設備の整備に引き続き努力して参ります。

なお、財務関係書類については情報公開を行っており、学校法人高崎商科大学ホームページ及び各設置学校内の所定の場所で閲覧することができます。

① 資金収支計算書の状況

資金収支計算書は、その年度の諸活動に対応する資金の収入と支出のほか、その年度内において現実に収納し、また支払った資金の収入と支出について、その顛末を明らかにする書類です。

平成26年度の資金収支状況について、収入は前年度繰越支払資金の2,320,555千円を加え、合計で4,926,769千円となり、学生生徒等納付金収入、補助金収入、前受金収入及びその他の収入で増加したもの

の、手数料収入、寄付金収入、資産運用収入及び事業収入等が減少したことで、予算に対しては47,063千円の減少となりました。

一方、支出については、人件費支出、教育研究経費支出、管理経費支出、施設関係支出及び設備関係支出等で減少し、次年度繰越支払資金は予算に対し65,082千円増加の2,257,037千円となりましたが、昨年からは63,518千円の減少となりました。

資金収支計算書

(単位：円)

収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金収入	1,476,646,700	1,476,660,390	△ 13,690
手数料収入	47,555,000	47,028,180	526,820
寄付金収入	11,956,405	11,947,765	8,640
補助金収入	702,492,867	712,717,934	△ 10,225,067
資産運用収入	23,239,869	23,165,590	74,279
資産売却収入	100,000,000	100,000,000	0
事業収入	12,378,500	12,303,488	75,012
雑収入	29,984,250	29,799,614	184,636
借入金等収入	200,000,000	200,000,000	0
前受金収入	228,670,000	236,173,000	△ 7,503,000
その他の収入	82,935,807	83,319,429	△ 383,622
資金収入調整勘定	△ 262,581,750	△ 326,901,237	64,319,487
前年度繰越支払資金	2,320,555,176	2,320,555,176	
収入の部 合 計	4,973,832,824	4,926,769,329	47,063,495
支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費支出	1,229,207,824	1,228,164,024	1,043,800
教育研究経費支出	515,559,776	513,845,687	1,714,089
管理経費支出	138,893,480	124,127,873	14,765,607
借入金等利息支出	3,540,675	3,540,675	0
借入金等返済支出	27,770,000	27,770,000	0
施設関係支出	464,514,870	429,447,466	35,067,404
設備関係支出	118,791,546	117,433,767	1,357,779
資産運用支出	204,880,000	204,880,000	0
その他の支出 (予備費)	48,821,101 48,437,033	48,821,101	48,437,033
資金支出調整勘定	△ 18,538,807	△ 28,298,205	9,759,398
次年度繰越支払資金	2,191,955,326	2,257,036,941	△ 65,081,615
支出の部 合 計	4,973,832,824	4,926,769,329	47,063,495

② 消費収支計算書の状況

消費収支計算書は、その年度の授業料や寄付金等、負債とならない収入（帰属収入）から「基本金組入額」を控除した「消費収入」と減価償却額や資産処分差額等を含む、その年度に消費する支出（消費支出）との均衡状態と経営状況を把握するための書類です。

平成26年度は、帰属収入合計が予算に対して11,209千円増の2,316,434千円となりました。また、基本金組入額は、275,308千円となり、この結果、帰属収入から基本金組入額を差し引いた消費収入は、予算比62,486千円増の2,041,126千円となりました。

これに対して消費支出は、予算に対して64,512千円減の2,083,918千円となりました。

これらの結果、単年度の収支状況の指標となる帰属収支差額（＝帰属収入－消費支出）は、232,516千円の収入超過となりました。また、収支のバランスを把握する消費収支差額（＝消費収入－消費支出）では、基本金組入の関係から42,792千円の支出超過となりましたが、前年度繰越消費収入超過額の994,713千円を加え、翌年度繰越消費収入超過額は、951,921千円となりました。

消費収支計算書

(単位：円)

消費収入の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
学生生徒等納付金	1,476,646,700	1,476,660,390	△ 13,690
手数料	47,555,000	47,028,180	526,820
寄付金	12,156,405	13,987,331	△ 1,830,926
補助金	702,492,867	712,717,934	△ 10,225,067
資産運用収入	23,239,869	23,165,590	74,279
資産売却差額	525,000	525,000	0
事業収入	12,378,500	12,303,488	75,012
雑収入	30,230,358	30,045,722	184,636
帰属収入合計	2,305,224,699	2,316,433,635	△ 11,208,936
基本金組入額合計	△ 326,584,908	△ 275,307,896	△ 51,277,012
消費収入の部合計	1,978,639,791	2,041,125,739	△ 62,485,948
消費支出の部			
科 目	予 算	決 算	差 異
人件費	1,246,227,947	1,245,184,147	1,043,800
教育研究経費	690,768,615	688,743,292	2,025,323
管理経費	148,272,801	133,473,303	14,799,498
借入金等利息	3,540,675	3,540,675	0
資産処分差額	3,791,271	3,791,271	0
徴収不能額 〔予備費〕	9,185,000	9,185,000	0
	46,643,856		46,643,856
消費支出の部合計	2,148,430,165	2,083,917,688	64,512,477
当年度消費支出超過額	169,790,374	42,791,949	
前年度繰越消費収入超過額	994,712,973	994,712,973	
翌年度繰越消費収入超過額	824,922,599	951,921,024	

③ 貸借対照表の状況

貸借対照表は、会計年度末における資産、負債、基本金及び消費収支差額を把握し、学校法人の財政状態を表わす書類です。

平成26年度末の総資産は、前年度末に比較して402,238千円の増加となり、本年度末10,614,130千円となりました。

資産の部では、「有形固定資産」が365,656千円の増加、「その他の固定資産」が100,602千円増加し、「固定資産」全体では本年度末8,236,218千円となり、対前年度466,258千円の増加となりました。また、「流動資産」は、本年度末2,377,912千円となり、前年度に比べ64,019千円減少しました。

負債の部は、「固定負債」が898,204千円で、前年度

に比べ173,902千円の増加、「流動負債」は、351,886千円で前年度に比べ4,180千円減少しました。この結果、総負債は、前年度末に比較して169,722千円の増加となり、本年度末1,250,090千円となりました。

また、基本金の部は、合計で8,412,119千円となり、前年度に比べ275,308千円増加しました。

これらの結果、消費収支差額は42,792千円の支出超過となり、前年度繰越消費収入超過額994,713千円と合わせて、翌年度繰越消費収入超過額は951,921千円となりました。

なお、総資産から総負債を差し引いた正味資産は9,364,040千円となり、前年度に比べ232,516千円増加しました。

貸借対照表

(単位:円)

資産の部		本年度末	前年度末	増 減
科	目			
固定資産		8,236,217,978	7,769,960,376	466,257,602
有形固定資産		6,673,035,096	6,307,379,453	365,655,643
土地		2,498,530,297	2,498,530,297	0
建物		3,341,748,157	2,902,319,654	439,428,503
建物附属設備		141,684,603	126,655,493	15,029,110
構築物		171,582,273	176,208,358	△ 4,626,085
教育研究用機器備品		161,473,876	98,423,232	63,050,644
その他の機器備品		4,970,116	5,073,582	△ 103,466
図書		343,946,913	339,606,865	4,340,048
車輛		9,098,861	13,751,972	△ 4,653,111
建設仮勘定		0	146,810,000	△ 146,810,000
その他の固定資産		1,563,182,882	1,462,580,923	100,601,959
有価証券		1,298,394,000	1,197,869,000	100,525,000
退職金給与引当資産		147,000,000	147,000,000	0
第3号基本金引当資産		51,936,631	50,936,631	1,000,000
特定支出引当特定資産		33,570,000	29,690,000	3,880,000
その他		32,282,251	37,085,292	△ 4,803,041
流動資産		2,377,912,209	2,441,931,706	△ 64,019,497
現金預金		2,257,036,941	2,320,555,176	△ 63,518,235
その他		120,875,268	121,376,530	△ 501,262
資産の部 合計		10,614,130,187	10,211,892,082	402,238,105
負債の部		本年度末	前年度末	増 減
科	目			
固定負債		898,203,573	724,301,238	173,902,335
長期借入金		749,840,000	594,390,000	155,450,000
退職給与引当金		140,891,773	124,117,758	16,774,015
長期未払金		7,471,800	5,793,480	1,678,320
流動負債		351,886,273	356,066,450	△ 4,180,177
短期借入金		44,550,000	27,770,000	16,780,000
前受金		236,173,000	235,238,500	934,500
その他		71,163,273	93,057,950	△ 21,894,677
負債の部 合計		1,250,089,846	1,080,367,688	169,722,158
基本金の部		本年度末	前年度末	増 減
科	目			
第1号基本金		8,205,182,686	7,939,874,790	265,307,896
第3号基本金		51,936,631	50,936,631	1,000,000
第4号基本金		155,000,000	146,000,000	9,000,000
基本金の部 合計		8,412,119,317	8,136,811,421	275,307,896
消費収支差額の部		本年度末	前年度末	増 減
科	目			
翌年度繰越消費収入超過額		951,921,024	994,712,973	△ 42,791,949
消費収支差額の部 合計		951,921,024	994,712,973	△ 42,791,949
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計		本年度末	前年度末	増 減
		10,614,130,187	10,211,892,082	402,238,105

編集後記

言葉でやりとりをするとき、言葉の受け止め方には三つの段階があると言われています。「音として聞く、意味ある言葉として聞く、言葉と共に感情まで受け止めて聞く」です。

昨年度より本校の全先生方の授業を副校長と教頭で見学させて頂いております。国語の授業でアクティブラーニングの指導法を活用されている先生

がおられました。伊勢物語の短歌の鑑賞をより深めるために、本校生徒が作成した短歌を使って、自分が良いと思った短歌について班毎に検討し全体で発表していました。作者の思いを自分も共有し、発表する授業でした。教師の解説を聞くだけの受け身の授業から、生徒の活動を重視する能動的な授業が展開されていました。

本校の建学の精神は「自主・自立」です。創立者の佐藤夕子先生は様々な角度から自立した人間の育成を目標に教育を展開されました。21世紀は多様性を重視する時代だと言われています。他者との共存が重視される時代です。他者の言葉を理解し、自分の生き方に反映させる。教育の質は、日々の授業の質によって高めることができます。生徒が主体的に授業に参加し、様々な能力を獲得していくことの重要性を全教職員で共有したいと思います。

最後に、「商大附高だより77号」に寄稿頂きましたご父母の皆様及び先生方には感謝申し上げます。

(牧口)

2学期以降県外大会出場(予定)部活動・結果報告



クラブ名	大会名	期日	成績
空手道部	国民体育大会(和歌山)	10/3~5	女子個人組手 出場 F3-6 川村真以
	平成27年度関東高等学校空手道選抜大会(東京)	1/16~17	女子団体組手 北ブロック3位 F2-6萩原菜摘、F2-8 土屋玲奈、F2-9 酒井もも恵、F2-10 戸谷泉水、F2-11 田中まゆ、F1-2 周藤里緒、F1-5 竹之内環、F1-10 上田実季 女子団体形 優勝 F2-10 戸谷泉水、F2-11 田中まゆ、F1-2 周藤里緒、F1-5 竹之内環、F1-10 上田実季、F1-4 井部まこ 女子個人形 北ブロック1位 F1-2 周藤里緒 出場 F1-10 上田実季
	平成27年度全国高等学校空手道選抜大会(北海道)	3/25~27	女子団体組手・女子団体形・女子個人形 出場 F1-2 周藤里緒、F1-10 上田実季
アーチェリー部	平成27年度関東高等学校アーチェリー選抜大会(埼玉)	11/14~15	男子個人 3位 F2-1 市川遼治、5位 F3-6 森田伊心、33位 S2-1 城川廉平、S2-2 東保宏、57位 F2-6 伊藤亨紀、F3-4 諸星涼太 女子個人 5位 F2-11 秋場祐里奈、9位 F2-10 今川琴乃、17位 F2-10 長壁優衣、F3-8 佐相花奈
	平成27年度全国高等学校アーチェリー選抜大会(静岡)	3/26~28	男子個人 出場 F2-1 市川遼治
フェンシング部	平成27年度国民体育大会(和歌山)	9/26~29	少年女子 準優勝 F3-11 登坂梨乃、S3-1 大木彩、F2-9 遠藤里菜
	全日本フェンシング選手権・団体戦(岩手)	12/13~16	女子フルール 1回戦敗退 F3-11 登坂梨乃、F2-9 遠藤里菜、F2-11 長壁伶奈、F1-10 樺澤凧紗 女子サーブル 1回戦敗退 S3-1 大木彩、F2-11 長壁伶奈、F1-10 樺澤凧紗、F1-10 加藤有紗
	JOCジュニアオリンピックカップ(東京)	1/7~10	出場 F2-9 小林勇氣、F2-5 倉林洋太、F2-6 星野駆真、F1-9 江藤和博、F3-11 登坂梨乃、S3-1 大木彩、F2-11 長壁伶奈、F1-10 樺澤凧紗 ジュニア女子エペ 5位 F2-9 遠藤里菜
	関東高校選抜フェンシング大会(栃木)	1/23~24	出場 F2-9 遠藤里菜、F2-11 長壁伶奈、F1-10 樺澤凧紗、F1-10 加藤有紗
	関東少年大会(群馬)	2/6~7	出場 F1-9 江藤和博、F1-9 砂山智、F1-7 中島直輝、F1-10 樺澤凧紗、F1-10 加藤有紗
	全国高校選抜フェンシング大会(山口)	3/25~27	出場 F2-9 遠藤里菜、F2-11 長壁伶奈、F1-10 樺澤凧紗、F1-10 加藤有紗
少林寺拳法部	平成27年度 第18回関東高等学校少林寺拳法選抜大会	12/20	女子自由単独演武 5位 F2-3 清水あかり
ペーパーアート部	JAPAN CUP 2015	8/30	カラーガード部門 3位 S3-1 清水七夏美、S3-2 神保茉莉、F3-4 栗原理沙、F3-5 佐伯風花、F3-6 小澤実莉、F3-7 新井まいか、F3-8 鶴田アキ、F3-9 戸塚千景、S3-1 佐藤麻由、S3-2 坂部稜華、高橋絵美、F2-4 須藤亜実、F2-12 笠原亜美、松口悠、F1-8 長澤愛奈、F1-9 藤巻葵、F1-10 馬場美咲、S1-1 清水葵、S1-2 佐藤菜月
	第43回マーチングバンド全国大会	2/21	カラーガード部門 出場
バトントワリング部	第50回バトントワリング関東大会	10/24	高等学校の部 バトン編成 銀賞 F3-9 内田菜、F3-2 石川紗椰、S3-3 堀菜月、F3-4 湯浅菜美、F3-5 岩崎公香、金子真弓、F3-7 岡田綾子、F3-10 芹澤彩乃、S3-1 佐藤珠乃、S3-3 井上菜、山口優香、F2-3 阿久澤柚衣、F2-6 佐々木舞衣、F2-7 宮川菜奈子、S2-1 中島雪菜、F1-1 山下凜子、F1-2 並木楓恋、F1-5 須賀有彩、富岡茉音、矢島沙季、F1-7 小倉寧々、清水麻羽、F1-9 梅田菜里、F1-11 長尾友香、山本弓桜
放送部	第62回NHK杯高校放送コンテスト全国大会(東京)	7/20~22	テレビドキュメンタリー部門 川田春花、長竹彩、小山みちる、大井珠莉、鈴木菜里奈、小畑みのり、柳田莉奈 ラジオドキュメント部門 堀愛華、會澤就実、楠理沙 ビデオメッセージ部門 川田春花、長竹彩
	第39回全国高校総合文化祭びわこ絵文全国大会	7/30~8/2	オーディオビジュアル部門 會澤就実、堀愛華、楠理沙
囲碁部	第31回関東地区高等学校囲碁選手権大会	平成28年1/16~17	女子団体戦 女子個人戦 出場 F2-4 嶋田あかり、F2-2 松本真穂、F1-1 岡部朱華